



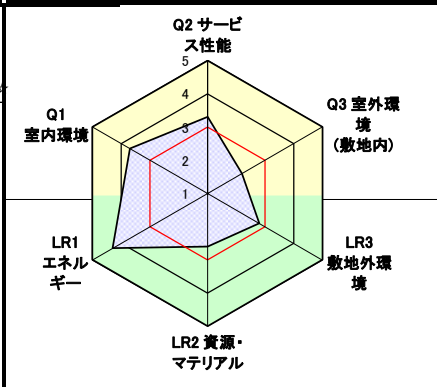
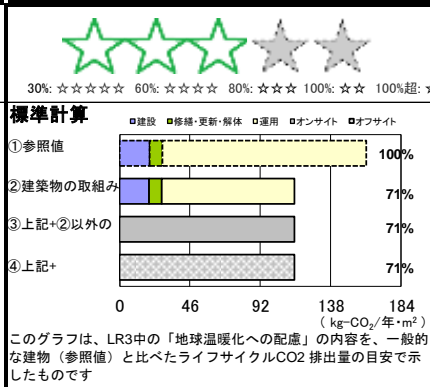
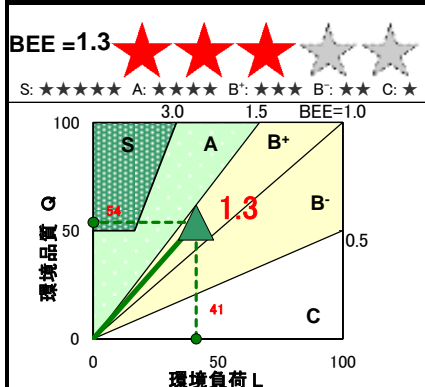
## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2 使用評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

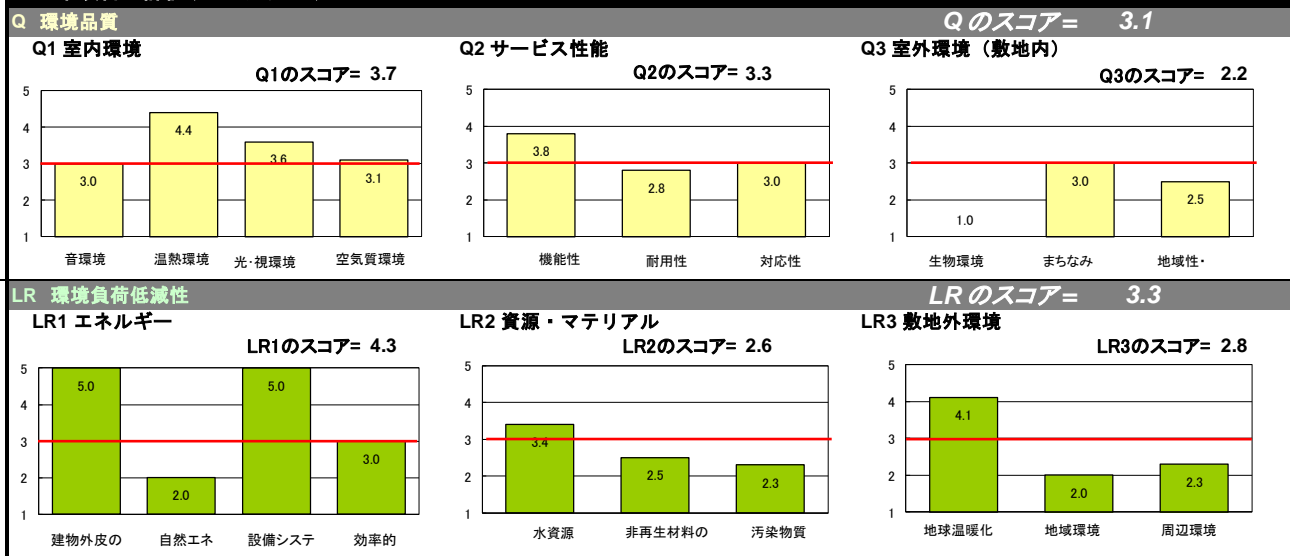
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	クリーンリバーフィネス澄川レジデンス	階数	地上10F
建設地	札幌市南区澄川2条1丁目17-15	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域	平均居住人員	75人
気候区分	2地域	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年2月 予定	評価の実施日	2017年1月23日
敷地面積	1,015 m <sup>2</sup>	作成者	
建築面積	287 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	2,383 m <sup>2</sup>	確認者	

「配慮シート」に  
外観パースを張り付けて下さい。

### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート) 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート) 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



### 2-4 中項目の評価(バーチャート)



### 3 設計上の配慮事項

<b>総合</b> 前面道路に建物を寄せることで、近隣への圧迫感を軽減させることと、主要なエントランスを交差点部分に計画することで、賑わいを創出させた。	<b>A 省エネルギー</b> 性能評価4等級を確保し省エネルギーに配慮し、給水器具は節水可能な機器を選定した。
<b>B 省資源等</b> できる限りの再生可能な建材を選定した。	<b>C 緑化</b> 現状変更行為(緑化申請)を満足するとともに、道路際には植栽を多く設け街並みに配慮した。
	<b>D 雪処理</b> 敷地内の駐車場や歩行範囲のロードヒーティングを完備し、敷地外への雪害の対策をとった。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される